



「がんばる人 in OHTOSHI」のコーナーでは、地域でイキイキと活躍している人達をご紹介します!

今回は、結成2周年を迎えた「おとし見守り隊」の皆さんです。

「緑のベスト」がトレードマークの「おとし見守り隊」は、「地域で子どもやお年寄りに寄り添い、みんなの安心・安全を見守ることで、地域ぐるみで子育てができ、お年寄りが安心して暮らせるようにしよう」と平成25年2月に民生委員の皆さんをはじめ、地域でさまざまな活動をされている方によって結成され、主に、児童の登下校の安全を守る活動をされています。

こうした活動は地域の皆さん、そしてドライバーの皆さんの協力と一体となって成果を上げることができます。これからも地域のためによりしくお願いします。



黒川市の中野洋史さんと山下十三さん



中矢原の岡藤政子さんと石井貴太郎さん

招 招 と し か わ の 路 Information

■福島市長さんからお礼が届きました

大歳自治振興会は福島市との交流事業を行っており、今年度は『赤ちゃん手形こいのぼり』と『缶バッジキーホルダー』を福島市へ送りました。

これに対し、12月に福島市長さんからお礼状と子供たちの寄せ書きが届き、1月28日には山口市の副市長さんへ報告しました。自治振興会では今後も福島の子どもたちとの笑顔の交流活動に取り組んでいきます。



山口市副市長に報告をする様子

行/事/予/定

3・4月

- 3月18日(金) 大歳小学校 卒業式【大歳小学校】
- 3月20日(日・祝) 春分の日
- 3月25日(金) 大歳小学校・鴻南中学校 修了式【大歳小学校】
- 4月 5日(火) 大歳体育振興会総会【大歳地域交流センター】
- 4月 5日(火) 大歳地域交流センター後援会総会【大歳地域交流センター】
- 4月 8日(金) 鴻南中学校 始業式・入学式【鴻南中学校】
- 4月 8日(金) 大歳小学校 始業式【大歳小学校】
- 4月 8日(金) 大歳自治会長会総会【大歳地域交流センター】
- 4月11日(月) 大歳小学校 入学式【大歳小学校】
- 4月18日(月) 大歳地区戦没者追悼慰霊祭【大歳地域交流センター】
- 4月18日(月) 大歳自治振興会総会【大歳地域交流センター】
- 4月18日(月) 大歳地区社会福祉協議会総会【大歳地域交流センター】



編集後記

この第38号は、「かわら版おとし」が発行されるようになって初の8ページ構成です。通常の4ページに比べると、読み物として大変充実度の高いものとなりました。お一人でも多くの方に読んでもらいたいというのが広報委員全員の願いです。来年度も同じメンバーで活動しますので、感想を聞かせていただけたら幸いです。(内田)

まちづくりおとし かわら版 2016.3 Vol.38



平成27年度の最終号となります。今回は、いろいろあった平成27年度を振り返り、広報委員会が勝手に選んだ7大ニュースを発表します。



大歳地区出身、久保裕也さんの活躍でサッカーオリンピック出場決定



大歳小学校体育館完成



大歳地域交流センター増改築工事着工



天候に恵まれた夏まつり、おとしまつり



コミュニティ交通についてアンケート結果分析



ねりんピック開会式でおもてなし



レノファ山口J3優勝J2昇格

広報委員会では、この「かわら版おとし」や「ホームページ」を通して、大歳地域の地域づくりに関する活動や人物を紹介しています。今後も内容を充実し、地域の皆様に「見」のある情報を提供したいと考えていますので、ご意見等あればお寄せください。大歳自治振興会事務局(☎920-1700、e-mail: o104mati@c-able.ne.jp)

一年を振り返って

平成27年度も残すところあとわずかになりました。

会長ごあいさつ



大歳自治振興会長 吉富 滋浩

平成21年に「地域づくり」がスタートして7年が経ちました。年々、ニーズや課題は多様化しておりますが、「地域の生活課題の解決」や「地域コミュニケーションの創造」などをメインとした「明るく 住みよいおとし」の実現を目指して「大歳地区地域づくり計画」を推進してまいりました。具体的な活動は、5活動部会1委員会が中心となって住民参加の下で実施しております。着実に成果を上げていますと考えます。ひとえに皆様方のご理解と積極的な取り組みがあつてのことです。心より感謝申し上げます。今後とも、みなさんと協働して明るい大歳を作りましょう。活動部会への参加は何時でもできます。より多くの方々の力を結集して大歳を元気にしましょう。お待ちしております。

各部会の部会長さんに今年一年を振り返って、感想や来年に向けての抱負を語っていただきました。

おおとし夏まつり



三大祭りを盛り上げて交流・活性化を

文化スポーツ部会

文化スポーツ部会長 升田 正通

多くの皆様のご支援、ご協力に感謝します。平成27年度は大歳小学校体育館の建替え工事、大歳交流センター増改築工事の影響で地区の三大イベントの体育祭、おおとし夏まつり、大歳まつりの開催が危ぶまれましたが自治振興会、大歳地域交流センターのご尽力により二つの祭りは盛大に開催されました。私どもの役割は多くの地区住民が参加し、楽しく、喜ばれる行事として住民総参加による地域の交流・活性化であります。今後とも皆さん方から様々な意見を頂き、更に充実したイベントにしたいと考えております。かわら版おおとしなどの地域の広報紙を見て、多くの方の参加を頂ければ幸いです。

自治会
活性化部会

多様な視点が求められる部会として



花壇コンクール審査の様子



自治会は地方自治の最小単位として地域の課題や要望の解決を期待されています。一自治会一事業の制度などを活用して活性化をはかりましょう。今、地域の課題は複雑化し、専門的知識を持つ諸団体との連携が求められるとともに、複数の自治会にまたがる課題の解決をめざすブロック機能の強化をはかることが必要です。課題解決に多様な視点が求められていると痛感した一年でした。

健康福祉部会

「育み、見守る、やさしい大歳」をめざして

健康福祉部会長 山下 十三



山口市政70周年大会で

当部会においては今年度の活動は主に「高齢者に対する支援」を実施して参りました。その中で高齢者の一人暮らしの方、二人暮らし世帯への災害時の防災用品の一部を配布しての見守り訪問と、「高齢者の居場所、生きがいセンター」について先進地区の3か所を視察研修等を実施してまいりました。計画の中で実施出来なかった事業もあり反省いたしております。地域の皆様との日頃のふれあい、コミュニケーションの大事さを改めて感じております。年々高齢者が増加しており、当部会も重要な位置づけになろうと考えます。健康長寿をめざして「育み、見守る、やさしい大歳」をテーマに、これからも活動して参ります。

安心安全部会

「体感治安」の向上のために

安心安全部会長 米屋 泰宏



安心安全部会は、平素から「生活安全」「交通安全」「犯罪の起こらない環境づくり」のために、「わんわんパトロール隊」「幸福神社」及び高齢者対策として「高齢ドライバー講習」、「うそ電話詐欺等セミナー」により一定の成果を見ています。特に、「湯田温泉駅周辺のパトロール」は、今年2月末までの間、6団体で、通算32回532名の方が参加されました。お陰様で、暴走族等不良徒のたむろが無くなり、観光客や地元の利用者が安心して「足湯」を利用されるようになりました。この様な活動により随所に「体感治安」が高まったと感じられます。今後も「安全で安心なまちづくり」のために、取り組みますのでよろしくお願い致します。

大歳小学校交通安全教室

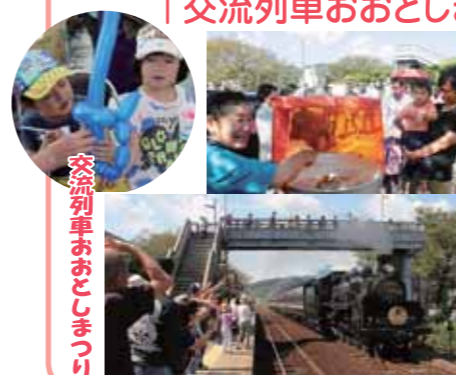
こども部会

日頃できない体験を通して学ぶ



海辺の教室

こども部会では、地域の各種団体との連携、ご協力をいただきながら、「東日本大震災に学ぶ事業」、「子ども見守り事業」、「ホタル観賞のタベ」、「海辺の教室」、「親子歴史ウォーキング」、「どんど焼き」などを実施しました。特に今年は交流センターの増改築工事の影響もあり、「海辺の教室」では、地域を飛び出し、秋穂の海辺でヨット教室、ビーチフラッグなど日頃なかなかできない体験をしながら楽しみました。子育て支援、子ども会活性化、子ども見守り、三世交代などの事業を通じて、地域の方々との交流が深まったものと考えています。ご参加、ご協力をいただきました皆さん、誠にありがとうございました。



交流列車おおとしまつり

「交流列車おおとしまつり」年々盛会

交流列車おおとし運営委員長 勝井 勝治

交流列車
おおとし
運営委員会

今年度も多数の方々へ交流列車おおとしの会議室をご利用いただき、有難うございました。おかげさまで、交流列車おおとしの知名度が上がり、昨年と比較して利用日、利用人数も格段に向上しております。交流列車おおとしでは、今年度も「第2回交流列車おおとしまつり」を開催いたしました。来場者は400人を越え、昨年度のまつりより100人以上多くの方々にお越しいただき盛会裏に終える事ができました。ご来場いただいた地域の皆さんありがとうございました。28年度も運営委員一同頑張りますので、ご来場をお待ちしております。

事務局

新体制でがんばっています！

工事中ですがまもなく完成します



昨年の11月にコミュニティ交通検討委員会を山口市と森栗教授を交え開催いたしました。大歳の現状やコミュニティアンケートの結果から、まだまだ議論や検討をかさねていく必要があります。住民の皆さんの気運が高まるまで、まだ時間がかかりそうです。さて、27年度の事務局は新人3人でスタートいたしました。地域の皆さんからご指導やご指摘をいただき対応をして参り1年がたとうとしております。28年度も現状の体制で頑張りますので、よろしくお願い致します。どうぞお気軽にお立ち寄りくださいませ。

大歳自治振興会の
恒例事業です

1自治会1事業



「自治会」事業も随分定着してきました。自治会役員にとっては大仕事ですが、お隣同士仲良くなる事が自治会活性化の大前提という単純かつ明快な理念で始まった事業です。お互いの笑顔が親交を深め、知恵をうみだす源泉と信じての取り組みです。今年の事業をまとめて紹介します。



活動紹介①
富田原自治会
平成27年8月2日



活動紹介②
今井上自治会
平成27年11月29日

卓球大会



活動紹介⑦
中矢原自治会
平成27年10月24日

三世代交流 もちつき



活動紹介⑩
岩富自治会
平成27年8月19日

三世代交流事業
「岩富のみんな!集まろう!」



三世代交流事業 そうめん流し
フラワーアレンジメント



活動紹介④
上湯田上自治会
平成27年7月5日
9月13日

周布公園の清掃と子供会花壇の花植え
自治会敬老懇親会



活動紹介⑨
黒川市自治会
平成27年11月22日

防火教室・防災体操



防犯、交通安全研修会

活動紹介③
今井下自治会
平成27年9月26日



活動紹介⑫
三作自治会
平成27年7月4日

- 三作で考えられる災害
1. 洪水
 2. 集中豪雨
 3. 台風
 4. 土砂崩れ
 5. 多重の交通事故
 6. 列車事故
 7. 航空機事故



活動紹介⑪
勝井自治会
平成27年11月15日

消防訓練及びAED講習



活動紹介⑤
穂積県営住宅自治会
平成26年7月12日



活動紹介⑥
上矢原自治会
毎週金曜日

ふれあい いきいき活動



活動紹介⑧
下矢原自治会
平成27年12月20日

三世代交流
(しめなわ飾作り)
(親子もちつき大会)



三世代交流会 防災の講演会/懇親会



活動紹介⑬
和田自治会
平成27年8月16日

和田観世音祭礼



団地内清掃懇親会
クリスマスイベント



団地内清掃



活動紹介⑭
河内・馬庭自治会
平成27年6月28日

一斉清掃と介護保険に関する学習



活動紹介⑮
山口朝田ヒルズ自治会
平成27年5月17日
12月6、26日

大歳を駆け抜けた明治維新～石州街道を歩いた人々

大歳歴史の散歩道 Vol.17



1863年(文久3年)3月政事堂が山口に移ると、石州街道は歴史の表舞台に登場します。石州街道(現在の旧道)が刻んだ維新の歴史を振り返ってみましょう。

「地下上申絵図」

江戸 享保時代(1716～35年)に村単位に描かれた絵地図
左から朝田・矢原村と続く
真ん中の赤線が石州街道です。



高杉晋作



井上聞多(鑿)



伊藤博文



西郷隆盛

大歳で生まれ活躍した

吉富藤兵衛
矢原の大庄屋で、藩庁とも関係の深い豪農でした。また井上聞多とは幼なじみで彼の反攘夷論に最初に同調し、彼が襲撃された時、その手術に立ち会いました。また、家の離れを周布政之助に貸し、吉川監物に幕府との交渉役を依頼する重要な旅にも同行するなど政之助にかわいがられました。大田・絵堂の戦いが始まると、幽閉中の井上聞多を救出して鴻城隊を組織し、佐々並の萩軍を夜襲で破り、矢原将軍と称えられました。維新後、脱退騒動の際、木戸孝允と行動を共にし、木戸に誘われ政府に出仕し、岩倉使節団にも誘われますが、家産の危機に直面し、帰郷します。その後、井上の創った先取会大阪支店頭取として米売買で名をあげますが、会社が解散するとまた帰郷します。同僚の益田孝は大財閥三井の総帥に、藤田伝三郎は藤田財閥をつくらますから、彼は財界で活躍するチャンスも失ったようです。山口では初代県会議長として自由民権運動に敵対しつつ保守政界の中心人物となります。山口県は歴代県令(知事)が他県人であったこともあり、県議会議長の力が強く、彼以後4代の議長に将軍のあだ名が付けられる事になります。

四国との和議

1864年(元治元年) 7～8月
英・仏・米・蘭の四国艦隊の攻撃準備を知って急ぎよイギリスから帰国した井上・伊藤は攘夷の無謀さに最初に同意した高杉と三人で、攻撃の中止を求めて山口から下関へ、石州街道を何度も往復。ついに高杉が正使、井上・伊藤が通訳となって和議を成立させる。

井上聞多襲撃事件

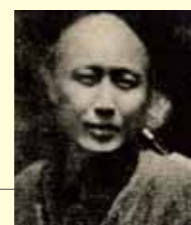
9月25日
迫り来る幕府の長州征伐軍にどう対応するかの大会議が開かれ、井上が吉富藤兵衛の「言い過ぎるな」の忠告を無視して「君主を切腹させて領地を守り身の安泰を図るなどは不忠の極み」式の議論で恭順派を圧倒。しかし、恭順派の憎しみが爆発、帰路襲われて瀕死の重傷を負う。所都太郎が量針、麻酔なしで数時間にわたる治療を行い、一命をとりとめる。



所都太郎

周布政之助の自決

9月26日
早朝、吉富藤兵衛が井上の治療を見届けて帰宅した直後、離れに住んでいた周布政之助の自決を知らされる。挙藩一致体制で雌伏すべきとの願いとかけ離れた藩論を死をもって諫めたと思われる。



周布政之助

諸隊、長府へ移動

11月17日
藩主が萩へ去り、幕府への抵抗を叫ぶ諸隊への支持も減っていく中、山口へ結集していた諸隊は唯一同情を示してくれる支藩長府への移動を決定。600人の行列は山口との惜別の悲しみを漂わせていた。



三条実美

大田・絵堂の戦い

1865年(4月から慶応元年) 1月21日
前年12月、幕府の見届役の指示による7人の元政務員の斬首と諸隊追討軍派遣で藩内世論が一変。高杉に批判的で大田まで出ていた奇兵隊も決起へ転換、大田・絵堂の戦いが始まり、山口・小郡の民衆もあげて諸隊を支援。駆けつけた高杉と共に、諸隊は山口へ勝利の凱旋。石州街道の最も晴れやかな一日でした。



山県有朋

桂小五郎の藩政改革

1865年(慶応元年) 4月
故国の混乱を無視したように潜伏を続けた桂小五郎が小郡を経て帰山。同様に動乱の中で沈黙を続けていた大村益次郎との二人三脚による洋式軍への改革が本格化する。



大村益次郎

薩長同盟

1866年(慶応2年) 1月
坂本龍馬の仲介で、薩摩名義での武器購入に成功。薩長同盟をめざして木戸は何度も下関へ足を運ぶ。1月、京都で薩長同盟締結。その後の四境戦争に勝利する政治的基礎が確立。もっともこれは和解と提携を主としたもので、翌年、9月山口で結ばれた第二次薩長同盟で京への出兵を含む攻守同盟となる。



木戸孝允



坂本龍馬

諸隊の反乱

1870年(明治3年) 2月
戊辰戦争から凱旋した諸隊を待っていたのは苛酷なリストラフでした。県庁への訴えも聞かれず、吉富の先導で山口を脱出した木戸孝允が下関から率いてきた鎮圧軍と柳井田の関門で戦いこれを破った。しかし、防府側から攻め込まれ降伏。大歳には、握り飯を差し入れたり負傷兵を運んだとの話が残り、反乱兵士への同情が強かったことをうかがわせる。



左:吉富簡一(藤兵衛改め) 右:益田孝

山口・大歳での出来ごと

明治維新の流れ

(和暦)	嘉永6年	安政元年	安政2年	安政3年	安政4年	安政5年	安政6年	万延元年	文久元年	文久2年	文久3年	元治元年	慶応元年	慶応2年	慶応3年	明治元年	明治2年	明治3年	明治4年
(西暦)	1853	1854	1855	1856	1857	1858	1859	1860	1861	1862	1863	1864	1865	1866	1867	1868	1869	1870	1871

●お問い合わせは大歳史談会へ (武波☎090-1198-4588)